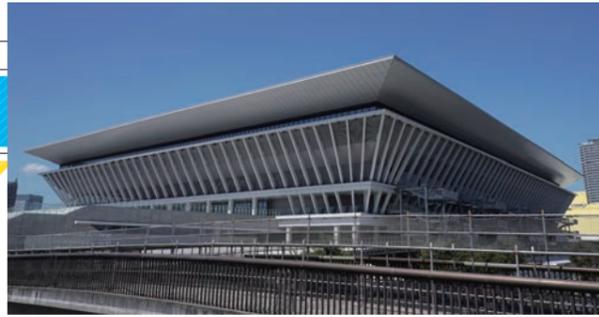




みんなの水泳……日々徒然

東京2020に向けて ～“東京2020+1”への準備～



“Tokyo 2020”の会場となる東京アクアティクスセンター。東京辰巳国際水泳場のすぐ近くに新設されました

▶はじめに

前回は、2021年に延期となった東京2020パラリンピック競技大会について現状などをお伝えしました。

今回は、2021年に向けて現状やパラ水泳の競技規則についてお伝えしたいと思います。

▶2021年開催の“Tokyo 2020”について…

2021年に延期された東京2020パラリンピック競技大会については、2020年開催日程と同様の時期、同様の曜日の設定に「1日スライド」した“2021年8月24日(火)に開会式、9月5日(日)に閉会式”というスケジュールがすでに公表されていました。

●東京2020パラリンピック 水泳競技スケジュール ※2020年9月7日時点での情報です。

8月25日(水)	8月26日(木)	8月27日(金)	8月28日(土)
男子400m自由形 S9	男子100m自由形 S5	男子100m背泳ぎ S12	男子100m平泳ぎ SB6
女子400m自由形 S9	女子100m自由形 S5	女子100m背泳ぎ S12	女子100m平泳ぎ SB6
男子100m背泳ぎ S1	男子100m自由形 S4	男子100m背泳ぎ S8	男子100m自由形 S10
男子100m背泳ぎ S2	男子200m個人メドレー SM6	女子100m背泳ぎ S8	女子100m自由形 S10
女子100m背泳ぎ S2	男子200m個人メドレー SM6	男子200m自由形 S14	男子150m個人メドレー SM4
男子100mバタフライ S14	男子400m自由形 S11	男子200m自由形 S14	女子150m個人メドレー SM4
女子100mバタフライ S14	女子400m自由形 S11	男子50m自由形 S11	男子150m個人メドレー SM3
男子50m平泳ぎ SB3	男子100m平泳ぎ SB9	女子50m自由形 S11	男子100m背泳ぎ S11
女子50m自由形 S6	女子100m平泳ぎ SB9	男子50mバタフライ S5	女子100m背泳ぎ S11
男子50m自由形 S10	男子100m背泳ぎ S13	女子50mバタフライ S5	男子200m個人メドレー SM8
女子50m自由形 S10	女子100m背泳ぎ S13	男子200m個人メドレー SM7	女子200m個人メドレー SM8
男子100mバタフライ S13	男子100m平泳ぎ SB8	女子200m個人メドレー SM7	男子100m平泳ぎ SB5
女子100mバタフライ S13	女子100m平泳ぎ SB8	男子400m自由形 S13	女子100m平泳ぎ SB5
男子200m自由形 S5	混合4x50m 20ポイント フリーリレー	女子400m自由形 S13	混合4x100m S14 フリーリレー
女子200m自由形 S5			
男子100m自由形 S8			

8月29日(日)	8月30日(月)	8月31日(火)	9月1日(水)
男子400m自由形 S7	男子100m背泳ぎ S7	男子400m自由形 S8	男子100m平泳ぎ SB7
女子400m自由形 S7	女子100m背泳ぎ S7	女子400m自由形 S8	女子100m平泳ぎ SB7
男子100m平泳ぎ SB14	男子100m背泳ぎ S9	男子100m自由形 S12	男子100m自由形 S6
女子100m平泳ぎ SB14	女子100m背泳ぎ S9	女子100m自由形 S12	男子400m自由形 S10
男子50m自由形 S9	男子200m自由形 S4	男子200m個人メドレー SM14	女子400m自由形 S10
男子50m背泳ぎ S3	男子50mバタフライ S6	女子200m個人メドレー SM14	男子100m平泳ぎ SB11
女子50m背泳ぎ S3	女子50mバタフライ S6	男子50m平泳ぎ SB2	女子100m平泳ぎ SB11
男子50m自由形 S13	男子50m背泳ぎ S5	女子50m平泳ぎ SB3	男子200m個人メドレー SM9
女子50m自由形 S13	女子50m背泳ぎ S5	男子50m自由形 S7	女子200m個人メドレー SM9
男子100m平泳ぎ SB4	男子200m個人メドレー SM11	女子100m自由形 S7	男子100m平泳ぎ SB13
女子100m平泳ぎ SB4	女子200m個人メドレー SM11	男子100mバタフライ S10	女子100m平泳ぎ SB13
男子200m自由形 S2	男子100m自由形 S3	女子100mバタフライ S10	男子50m自由形 S5
女子4x100m 34ポイント フリーリレー	男子200m個人メドレー SM13	女子100m自由形 S9	男子50m自由形 S8
	女子200m個人メドレー SM13	混合4x100m 49ポイント フリーリレー	男子100m平泳ぎ SB12
	男子4x100m 34ポイント フリーリレー		女子100m平泳ぎ SB12

●パラリンピック競技スケジュール

URL <https://tokyo2020.org/ja/paralympics/schedule/>



2020年8月3日に、新たに各競技についてさらなる詳細が発表されました。パラ水泳の競技については、次のように発表されています。

- ・水泳競技は8/25(水)～9/3(金)の10日間
- ・午前に予選、午後に決勝
- ・午前セッション9:00開始、午後は17:00開始(セッション終了は日によって異なります)

【参考】選手枠の配分方法などは、『Tokyo 2020 Paralympic Games Qualification Regulations』に記載されています(最新版は2020年7月版)。

URL https://www.paralympic.org/sites/default/files/2020-08/2020_08_21%20Tokyo%20QG.pdf

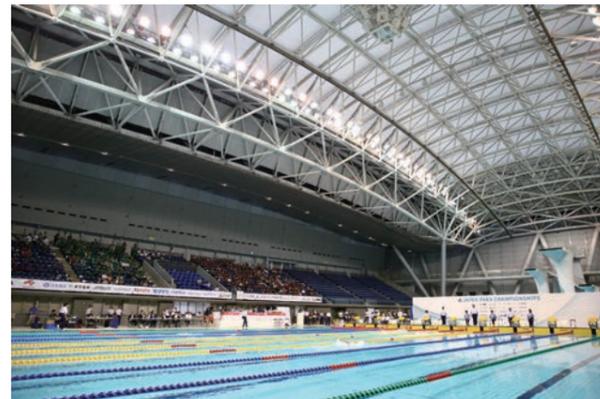


▶2020年後半のパラ水泳競技会は…

2020年前半においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内外のほぼすべてのパラ水泳競技会が中止または延期となりました。

国内においては、11月7～8日に仙台での開催が予定されていた日本パラ水泳選手権大会についても、2021年3月6～7日に静岡県富士水泳場に変更されました(例年この時期に開催されている春季記録会は中止)。

ここ数年は3月の富士での春季記録会で、その年のメインに位置付けられるような国際大会への代表選考が行われていたが、2021年開催の東京2020パラリンピック競技大会の代表の選考戦は、上述の2021年3月の開催予定の日本パラ水泳選手権大会ではなく、2021年5月21～23日にジャパンパラ水泳競技大会(横浜国際プール)とされることが8月22日に発表されています。



2019年ジャパンパラ水泳競技大会も横浜国際プールで行われました。選手たちにとっては慣れた会場です

9月2日(木)	9月3日(金)
男子400m自由形 S6	男子200m個人メドレー SM10
女子400m自由形 S6	女子200m個人メドレー SM10
男子100mバタフライ S9	男子100m背泳ぎ S6
女子100mバタフライ S9	女子100m背泳ぎ S6
男子100m背泳ぎ S10	男子100mバタフライ S8
女子100m背泳ぎ S10	女子100mバタフライ S8
男子100m背泳ぎ S14	男子50mバタフライ S7
女子100m背泳ぎ S14	女子50mバタフライ S7
男子50m背泳ぎ S1	男子50m背泳ぎ S4
男子50m背泳ぎ S2	女子50m背泳ぎ S4
女子50m背泳ぎ S2	男子100mバタフライ S12
男子50m自由形 S3	女子100m自由形 S11
男子50m自由形 S4	男子200m自由形 S3
女子50m自由形 S4	女子200m個人メドレー SM5
女子4x100m 34ポイントメドレーリレー	男子100mバタフライ S11
	男子4x100m 34ポイントメドレーリレー

国際大会については、WPSの2020年ワールドシリーズ大会が当初は全部で7大会予定されていましたが、2月に豪州メルボルン大会が開催された後、実施がありませんでした。10月15-18日に2020WPSワールドシリーズとしてIDMベルリン2020大会を実施することが、9月17日にWPSから発表されました。2019年の同大会には46か国から500人以上の選手が参加しました。今回は欧州中心の参加になると予想されます。

現時点では(渡航に関する制限など詳細は不明ですが)2020年12月10-17日にタイでIWASワールドゲームスの開催が予定されています。

URL <https://iwasf.com/news/seven-sports-to-feature-at-iwas-world-games-2020/>



2021年5月16-22日にポルトガルのマデイラ諸島にあるファンシャルという街で欧州オープンパラ水泳選手権大会が開催される予定であることが、8月11日に発表されています。このファンシャルは、次回のWPS世界選手権の開催予定地でもあります。

延期された2021年開催予定の東京2020大会に向けて、設定された期限までに国際クラス分けを受けなければならない選手(ステイタスがRやR2020、R2021など)について、各国は、自国選手の状況をしっかり把握し、渡航に関する情報等国際関係の動向を見極めつつ、情報が入り次第、柔軟に対応していく必要があります。クラス分け受検のみならず、選手がMQSを突破する機会を各国は切望していると思います。どうか国際大会が開催されるといいのですが、世界各地域での感染状況を考えると、詳細な見通しはすぐには難しい状況かもしれません。

パラ水泳競技規則

- スタート台にタオル等を敷くことが許される
切欠や欠損のある選手について、スタート時の擦り傷などを防ぐために、スタート台にタオルやセームなどを敷くことがルールで認められています(二重またはそれ以上に重ねることは不可)。
競技会では、タオルやセームについても広告規定に触れないように注意しましょう。



- 自由形種目でも5mフラッグを使うことがある
パラ水泳では、選手によってはうつ伏せでは呼吸動作などが難しいなどの理由から、自由形種目を背面で泳ぐことがあります。こういったケースには、安全上の理由で、自由形種目でも5mフラッグを設置します。